

高齢者福祉

正解: B. 高齢者が地域社会で自立した生活を送ることを支援する

解説: 高齢者福祉は、自立支援を重視し、住み慣れた地域で安心して生活できる環境づくりを目指します。

正解: C. 65 歳以上のすべての人

解説: 介護保険制度では、65 歳以上の人は「第 1 号被保険者」として、要介護認定を受けることでサービスを利用できます。

正解: D. 医療的虐待

解説: 高齢者虐待防止法では、身体的虐待、精神的虐待、経済的虐待、ネグレクトが定義されていますが、「医療的虐待」という分類は含まれません。

正解: D. 金融サービス

解説: 地域包括ケアシステムは、医療、介護、住まい、生活支援、予防を柱として、高齢者の生活を支える仕組みです。

正解: E. デイサービスセンター

解説: デイサービスセンターは、通所介護の場であり、高齢者福祉法に基づく福祉施設には該当しません。

正解: B. 高齢者が自立した生活を維持することを支援する

解説: 介護予防事業は、高齢者が健康的で自立した生活を維持するための支援を目的としています。

児童・家庭福祉

正解: C. すべての児童が健全に育成されるよう社会全体で支援する

解説: 児童福祉法は、すべての児童が健全に成長できる環境を社会全体で提供することを目的としています。

正解: C. 経済的虐待

解説: 児童虐待防止法では、身体的虐待、精神的虐待、性的虐待、ネグレクトが定義されていますが、経済的虐待という分類はありません。

正解: C. 母子家庭、父子家庭、寡婦が安定した生活を送るための支援を行う

解説: この法律は、特に母子家庭、父子家庭、寡婦を対象に経済的・生活的な安定を支援することを目的としています。

正解: D. 特別養護老人ホーム

解説: 特別養護老人ホームは高齢者福祉施設であり、児童福祉施設には含まれません。

正解: C. 実親との法律上の親子関係が完全に終了する

解説: 特別養子縁組は、養子が新しい家庭に完全に属することを目的として、実親との法律上の親子関係を終了させます。

正解: C. 子どもが経済的理由で家庭外に移されることを奨励する

解説: 子どもの貧困対策法は、家庭環境における支援を重視し、家庭外移動の奨励は目的ではありません。

貧困に対する支援

正解: B. 経済的困窮者に最低限度の生活を保障し、自立を助ける

解説: 生活保護制度は、困窮する国民に最低限度の生活を保障し、将来的な自立を支援する制度です。

正解: B. 生活保護は他の資産や収入をすべて活用した上で適用される

解説: 補足性の原則は、生活保護が最終的なセーフティネットとして機能することを意味します。

正解: D. 社会的排除の推進

解説: 子どもの貧困対策法は、教育、健康、就労支援などを通じて貧困の連鎖を断つことを目的としており、社会的排除の推進は含まれません。

正解: C. 雇用を喪失したり、生活困窮により住居を失うおそれがある世帯

解説: 住居確保給付金は、生活困窮者が住居を失わないよう支援するための制度です。

正解: B. 貧困状態からの脱却を目指し、生活支援や就労支援を行う

解説: 福祉施設は、困窮者の生活や就労を支援し、自立を促進する役割を担っています。

正解: D. 年金の支給

解説: 年金の支給は社会保障制度の一部であり、生活困窮者自立支援法に基づく支援には含まれません。

保険医療と福祉

正解: C. 国民全員が医療サービスを公平に受けられるようにすること

解説: 日本の医療保険制度は、国民皆保険の仕組みを通じて、すべての人が公平に医療を受けられることを目的としています。

正解: B. 10%

解説: 介護保険制度では、原則としてサービス利用者は費用の10%を負担します。ただし、所得に応じて負担割合が異なる場合もあります。

正解: D. 自営業者や無職の人

解説: 国民健康保険は、自営業者や無職の人など、職域保険(健康保険)に加入していない人が対象となります。

正解: C. 75歳未満の健常者

解説: 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者と、65歳以上で一定の障害を持つ人が対象です。

正解: B. 在宅で療養する人が自立した生活を送れるよう支援すること

解説: 訪問看護は、利用者が住み慣れた自宅で適切な医療と看護を受け、自立した生活を送れるよう支援します。

正解: E. 国民年金の給付

解説: 国民年金の給付は年金制度に基づくものであり、医療費助成制度には含まれません。

ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）

正解: A. 利用者の自己決定を尊重する

解説: ソーシャルワーカーは、利用者の自己決定権を尊重し、その意思を支援することを倫理の基本としています。

正解: B. 利用者が持つ能力や資源を最大限に活用する

解説: ストレングス視点は、利用者の強みや資源に焦点を当て、解決策をともに見出す支援方法です。

正解: C. 他職種と連携しつつ、利用者の利益を最優先に考える

解説: 多職種連携では、利用者の利益を最優先にしながら、それぞれの専門性を活かすことが重要です。

正解: B. 社会的排除を解消し、すべての人が社会に参加できるよう支援する

解説: インクルージョンは、社会的排除をなくし、誰もが社会で活躍できる環境を整えることを意味します。

正解: C. 実証的根拠に基づいて支援を行う

解説: EBP は、科学的な根拠に基づき、利用者の状況に応じた効果的な支援を行うアプローチです。

正解: B. 自身の負担を軽減し、質の高い支援を維持するため

解説: セルフケアは、ソーシャルワーカー自身の健康と精神的安定を保つことで、利用者への支援の質を向上させるために重要です。

ソーシャルワークの理論と方法（専門）

正解: B. 個人、集団、地域など多様なレベルでの支援を行う

解説: ジェネラリスト・ソーシャルワークは、多様なレベルで包括的な支援を行うアプローチです。

正解: B. 利用者を環境との相互作用の中で捉える

解説: PIE モデルは、利用者とその環境の相互作用を重視し、統合的な視点で問題を捉えます。

正解: B. 利用者の持つ資源や成功体験を活用する

解説: ストレングス視点は、利用者の強みやポジティブな側面を活用し、解決策を導く支援方法です。

正解: B. 現実場面を想定し、役割を体験しながら学ぶ

解説: ロールプレイは、実践的な場면을模擬体験することで、課題解決や学習を促進する方法です。

正解: B. 個人と環境の相互作用を理解し、調整を図る

解説: エコロジカルアプローチは、個人と環境との関係性を重視し、両者を調整する支援方法です。

正解: A. 利用者が持つ回復力や適応力を引き出す

解説: レジリエンスは、利用者が困難を乗り越える能力を強化し、支援する考え方です。

正解: B. 利用者が必要とするサービスを調整し、適切につなげる

解説: ケースマネジメントは、利用者が適切な支援を受けられるようにサービスを調整する役割を担います。

正解: B. 利用者を中心に複数の支援者が連携して包括的に支援する

解説: ラップアラウンドアプローチは、利用者を中心に据え、関係者全員で包括的な支援を行う方法です。

正解: D. 利用者の同意なしに計画を進める

解説: プランニングは、利用者との協働と同意を基本とし、利用者を置き去りにして進めることはありません。

福祉サービスの組織と経営

正解: B. 利用者のニーズを尊重し、福祉の向上を目指すこと

解説: 福祉サービスの経営では、利用者のニーズを満たし、社会福祉の向上に寄与することが最も重要です。

正解: B. Plan(計画)

解説: PDCA サイクルは、計画(Plan)、実行(Do)、評価(Check)、改善(Act)のプロセスを繰り返して組織の運営を改善します。

正解: C. 職員の価値観や行動が共有される文化

解説: 組織文化とは、組織内で共有される価値観や信念、行動のパターンを指し、福祉サービスでは利用者に適切なサービスを提供する文化が重要です。

正解: C. 職員を動機づけ、利用者の満足度を向上させる

解説: リーダーシップは、職員を動機づけて組織の目標達成を支援し、利用者の満足度を高める重要な役割を果たします。

正解: B. 利用者の満足度やニーズの反映を重視する

解説: 福祉サービスの評価では、利用者の満足度やニーズが適切に反映されているかが重要です。

正解: D. 利用者からのフィードバックを排除する

解説: 財務管理では、利用者のニーズやフィードバックを考慮して、収支計画を適切に行うことが求められます。